

別紙様式 1

令和4年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
指定管理者名	株式会社ネオピエント	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成13年7月1日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどの設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんどの設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんどの施設等の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんどの利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんどの使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんどの管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 52 名 臨時職員 18 名 計 70 名
	正規職員：52名、パート：16名、非常勤2名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R4年度	34,376	51,920	23,317	22,839	35,484	22,602	55,937	33,899	69,365	29,045	22,716	37,063	438,563
	前年度	21,646	18,314	12,909	18,314	22,304	19,318	44,139	49,732	91,547	30,642	13,987	29,603	372,455
	前々年度	8,420	11,760	10,563	11,079	16,589	23,129	33,323	34,565	61,232	16,393	18,810	25,248	271,111

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R4年度	4,148	7,379	3,095	4,435	9,325	3,353	5,637	3,399	8,690	4,236	2,266	4,907	60,876
	前年度	3,307	1,498	1,754	4,176	6,629	3,197	4,970	5,306	9,502	4,885	1,326	3,907	50,457
	前々年度	525	850	1,101	2,102	4,531	3,868	3,840	4,301	8,407	2,185	2,112	4,443	38,265

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
	R4年度		25,731	27,099	8,044	2	60,876
	前年度		22,837	21,439	6,133	48	50,457
	前々年度	679	17,973	15,887	3,668	58	38,265

## 5 収支の状況

(単位：千円)

項目		R4年度	R3年度(前年度)	R2年度(前々年度)
収入	指定管理料	636,072	636,072	657,691
	利用料金収入			
	事業収入	11,600	8,648	7,107
	その他	11,123		
	計	658,795	644,720	664,798
支出	人件費	227,051	295,196	124,944
	管理運営費	421,835	349,524	479,424
	事業費			
	その他			0
	計	648,886	644,720	604,368
収支		9,909	0	60,430

## 6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント実施前に、複数の取引先から見積を徴収し、価格交渉を行うことで経費削減に努めている。</li> <li>・経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などをおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。</li> <li>・展示解説、公園等のスタッフの大部分を直接雇用にて切替え、運営費を大幅に削減している。</li> <li>・企業、団体との共催事業を実施しており、経費の削減に努めている。</li> <li>・勤怠管理システムを導入し、総務に関するコストの削減につなげた</li> </ul>
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元JAXAの科学館部員によるリスクアセスメント研修を実施し、低減対策や各自の意識向上に努めている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が拡大している中でも、状況に応じた大規模な集客イベントを実施することができた</li> <li>・施設単独の情報発信だけでなく、利用者がSNSにて情報発信及び拡散できるような季節性イベントを実施し、幅広い年齢層への情報拡散を実施することができた</li> <li>・SNSの投稿内容を精査し、来園者に伝わりやすい工夫をしている</li> <li>・「木づかいフェア」や「特別企画 遊んで学ぶおもちゃ展」で木のおもちゃ美術館と連携し、園内一体となった取組を実施している</li> </ul>

## 7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>独自の財源のみではなく、助成金や協賛金を獲得し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女子中高生の進路選択支援プログラム」</li> <li>・「明日多夢子ども会社」</li> <li>・「阿波ふうどフェスティバル」</li> </ul> <p>など多くの自主事業を実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも数多くの来園者を記録することができている。</p> <p>特に、「阿波ふうどフェスティバル」については、出店者・来園者双方の満足度が高かった。</p>
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	PR TIMESの活用やイオン系列店舗へのチラシの設置、感染状況に応じた園内運用の変更など、利用者のニーズに応えながら施設の円滑に運用している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いている時期に集客イベントを実施するなど、すべて中止とするのではなく、感染状況に応じてイベントを検討し、実施している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき修繕を行うとともに、日頃の巡回等により発見した緊急を要する修繕箇所などは、県に報告したのち、修繕を行っている。 また、過去に監査で指摘を受けた事項である費用の支払いについては、経理専用ソフトとエクセルのダブルチェックを実施している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	経費支出のPDCAサイクルを職員全体で共有するため、経費管理を行う総務部だけでなく全部門において、光熱水費や消耗品などの固定費について月例会議や担当者会議などをおして協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 新型コロナウイルス感染症の影響で屋内施設の利用料金収入が未達だが、利用者はコロナ禍以前と同水準に回復している。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	防火管理者、危険物取扱者などを配置し、安全で適正な業務執行に努めており、園内ほか指定管理者と横の連携をとりながら研修を実施している。 BCPの認証を取得し、災害時におけるリスク管理意識醸造に努めている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。 昨年度に引き続き、産業医と相談しながら、メンタルヘルス、健康管理、作業環境などの意見交換を実施している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	インターンシップ制度を設けるなど、職員・スタッフの地元採用に努めている。 業務委託については技術的な制約がある場合を除いて、地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	徳島県各部局、徳島県教育委員会、板野町教育委員会、大塚製薬、とくしまマラソン実行委員会と連携し多種多様なイベントを実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	指定管理者はBCPの認定を受けており、災害等発生時に備えている。 情報管理に関してプライバシーマークを取得している。 あすたむらんど内の他指定管理者と連携して消防訓練を実施している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	園内の草木をたい肥にして再利用している。 節電、節水、裏紙の再利用など小さな取り組みを大切にしている。 SDGsの項目内の 「気候変動に具体的な対策を」 「海の豊かさを守ろう」 「パートナーシップで目標を達成しよう」 を対象とした利用促進事業を開催しており、利用者を楽しみながら環境対策を意識付けできる工夫を実施している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行っている。 情報公開に関する規程を整備している。 また、業務手法の改善に取り組んでおり、支払い状況の管理方の変更、電子インボイス制度の研修会に参加するなど、知識の吸収にも務めている。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた施設運営ができており、入園者数も令和元年度と遜色ない数値となっている。 コロナ禍でも集客事業ができるように多種多様な工夫を実施し、園の目的に沿った運用ができていていると言える。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

令和元年度と比較しても、来園者は近い数値になってきている。しかしながら、新型コロナという外的要因に利用料収入が左右されている事実は変わっていない。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、大規模な集客イベントは可能となったが、ウイルス自体が消滅した訳ではないため、最低限の感染対策を実施し、イベントを臨機応変に実施できるよう企画の段階からブラッシュアップしていく必要がある。

施設の規模が大きいため、光熱費高騰の影響をかなり受けている。節電の観点からも設備を新しくする必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症で休止していた遊具が約3年ぶりに稼働を再開するため、故障や事故がないように重点的にメンテナンスを心がけて運営していく必要がある。